

【図書名等】 石綿含有建材調査者テキスト 一般建築物・一戸建て等用

コード No.23421 第2版 定価:5,280(本体 4,800 円+税 10%)
(コード No.および定価とも現行どおりです。)

【発行日】 令和 5 年 2 月 22 日

【改訂の概要】

改訂のあらまし	該当頁
全体について ・令和 3 年 1 月（第 1 版発行）以降の法令の改正や、最新の知見に対応して内容を見直した。 ・全体にわたり、記述、文言・誤字の修正、用語の統一（「現地調査」→「目視調査」／「非含有」「不含有」→「無含有」など）、図表番号の振り直しを行った。 ・石綿含有建材調査者として知っておくべき内容に絞り簡潔にし、実際の調査の流れに沿った構成とした。 ・第 2 編の一戸建て住宅等向けの記述を、レベル 3 建材を中心とし、レベル 1、2 は「建築一般」を参照とする内容とし、「一戸建て等石綿含有建材調査者」のみの受講者が利用しやすいように再編した。 ・毎ページごとに 5 行単位で行番号を入れ、便宜を図った。 主な改訂箇所は以下のとおり。 (以下、「旧」は第 1 版を意味する。)	
巻頭 ・カリキュラム【一戸建て等建築物石綿含有建材調査に関する講義】本書の第 2 編の対応箇所を修正。	5
第 1 編 建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識	
1.1 石綿と建築物	
1.1.1 石綿について	
・旧「(1)石綿の定義」と「(2)石綿の種類」を統合し、「(1)石綿の種類と定義」とし、旧「(3)石綿の物性」を「(2)」とした。	16～19
・図 1-1、表 1-2 を修正。	16, 18
1.1.2 石綿の有害性	
・各項目ごとに引用文献及び参考文献を示した。	19～29
1.1.3 建築物に使用されている石綿	
・(1)(2)に「④石綿含有保温材」についての記述を追加。以下、○番号繰り下げ。	31
・表 1-3、表 1-5 を差し替え。	32, 34
・表 1-4 を修正。	33
・旧「図 1-11 石綿含有耐火被覆板の施工例」を削除。	
1.2 労働安全衛生法および石綿障害予防規則の概要	
1.2.1 労働安全衛生法の概要	
・労働安全衛生管理についての記述及び図 1-13 を追加。	38
1.2.2 石綿障害予防規則の概要	
・「(1)石綿含有建材調査者に関する規定」を新設。	40
・「(2) 事前調査に関する規定」を新設し、旧(1)～(4)を 1)～4)とし、「(5)事前調査の結果等の報告」及び「(6)事前調査結果の掲示」を追加。	40～42
1.3 関係法令	
1.3.1 大気汚染防止法	
・表 1-7 及びコラムを囲みで追加。	44～47
1.3.3 その他関係法令等	
・(1)に「1)廃石綿等（特別管理産業廃棄物）」、「2)石綿含有産業廃棄物」	48

を新設。	
1.4 建築物石綿含有建材調査とは	
1.4.1 建築物石綿含有建材調査の概要	
・表 1-9 を修正。	52
1.4.3 石綿含有建材調査者とは	
・(1)に「1) “みなし” 措置をする場合のメリット・デメリット」及び「2) 分析調査を行った場合のメリット・デメリット」を新設。	54
・(2)の①～⑧に参照箇所を追記。	55
・図 1-16 を修正。	56
1.4.4 リスクコミュニケーション	
・図 1-17、表 1-10 を追加。	57, 58
・図 1-18 (旧図 1-17) を差し替え。	58
・旧第 1 編の最後の【建築物に石綿ありの場合の維持管理】を第 4 編 4.2.2 に移動。	347
第 2 編 書面調査 (石綿含有建材の建築図面調査)	
・第 2 編のタイトルを旧「建築一般、図面の読み方、情報入手」から変更。	61
2.1 書面調査前の事前準備	
・2.1 を新設。以下、章番号を繰り下げ。	62
2.2 建築一般	
2.2.1 建築一般	
・図 2-2、図 2-3、図 2-4 を追加。	65, 66
2.2.2 建築基準法の防火規制に着目する方法	
・旧「(3)延焼のおそれのある部分」を(8)へ移動。(3)～(7)の番号を振り直し。	68～76
・「(6)鉄骨造と耐火被覆」の記述について、旧「注) 2」部分の記述を本文にまとめた。	72
・「(9)防火区画」の記述について、旧「1)」の記述から分割して「2) 高層区画」を新設。以下、) 番号繰り下げ。	77
・「(10) S 造と RC 造の比較」のタイトルを旧「RC 造と S 造の比較」から変更。旧「1)」と「2)」を入れ替えて「1) S 造の場合」、「2) RC 造や SRC 造の場合」とした。	80, 82
・表 2-8 の注) を削除。	85
・図 2-5 (旧図 2-2)、図 2-9 (旧図 2-6)、図 2-13 (旧図 2-1)、図 2-19～図 2-23 (旧図 2-17～旧図 2-21)、図 2-24 (旧図 2-14) を修正。	70, 74, 76, 81, 82, 83
2.2.3 設計者の設計理念や要求性能に着目する方法	
・2.2.3 のタイトルを旧「設計者の設計思想や要求性能に着目する方法」から変更。	87
・図 2-28 (旧図 2-24)「②ピロティ」及び図 2-30 (旧図 2-26)「②サンプルリング採取」の写真を差し替え。	90, 92
2.3 建築設備と防火材料	
2.3.2 給排水設備	
・図 2-34 (旧図 2-30)「配管エルボを覆う石綿含有保温材」の写真を差し替え。	96
・旧「図 2-32 グリーストラップの耐火被覆」の写真を削除。	
2.4 石綿含有建材	
2.4.1 レベル 1 の石綿含有建材	
・「(3)レベル 1 の製品名」の記述について、レベル 1 の製品名の主なものについての記述を削除。	107
・図 2-40 (旧図 2-37)、表 2-11 (旧表 2-13) を修正。	102, 107
・以下を削除。	
・旧「表 2-11 吹付け工法の種類」	
・旧「表 2-12 メーカーが公表しているレベル 1 建材に石綿が使用された時期の例 (目安)」	
・旧「図 2-42 両面仕上げの石綿含有吹付け材による耐火壁」	

<ul style="list-style-type: none"> ・旧「図 2-43 片面仕上げの石綿含有吹付け材による耐火壁」 	
2.4.2 レベル2の石綿含有建材 <ul style="list-style-type: none"> ・表 2-12 (旧表 2-14)、表 2-14 (旧表 2-17) を修正。 ・旧「表 2-15 メーカーが公表しているレベル2建材に石綿が使用された時期の例 (目安)」を削除。 	108, 113
2.4.3 レベル3の石綿含有建材 <ul style="list-style-type: none"> ・表 2-15 (旧表 2-18) を修正。 ・「(2) レベル3の表示」を新設。図 2-53 (旧図 2-52) を差し替え。 ・「(3) レベル3の種類とその概要」(旧(2)レベル3の種類)の記述について、レベル3の各製品の特徴の概要をまとめなおし。すべてに JIS No. を記載。 ・図 2-60 (旧図 2-58) の写真4点のうち3点を差し替え。 ・表 2-16 (旧表 2-19) を差し替え。 ・図 2-63 (旧「図 2-61 せっこうボードの印字の状況」) の写真を差し替え。 ・図 2-64、図 2-65 を追加。 ・図 2-67 (旧「図 2-63 曲面ボードの施工例」) に写真2点を追加。 ・図 2-72 (旧「図 2-68 石綿含有壁紙」) の写真を差し替え。 ・図 2-83 のタイトルを旧「図 2-79 石綿セメント管の施工例」から変更。 ・図 2-86 は旧「図 2-82 ガスケット、キャンバス継手の使用例」から分割。 ・図 2-87 (旧「図 2-82 ガスケット、キャンバス継手の使用例」) を分割に写真を1点追加。 ・「(4) 製品名の通称・略称について」を新設。 ・以下を削除。 <ul style="list-style-type: none"> ・旧「図 2-53 石綿含有スレートボード・フレキシブル板の施工例」 ・旧「図 2-54 石綿含有スレートボード・軟質フレキシブル板の施工例」 ・旧「図 2-82 ガスケット、キャンバス継手の使用例」より、「ダクト用ガスケット (①) と継手 (②) (石綿布)」と「キャンバス継手アルミ箔」を削除。 	117 118~120 120~148
2.4.4 石綿含有建築用仕上塗材 <ul style="list-style-type: none"> ・2.4.4 を新設。 	126 127 129 129 132 136 145 148 149
2.5 石綿含有建材情報の入手方法 <ul style="list-style-type: none"> ・旧「2.6」を「2.5」へ移動。記述を最新の「石綿 (アスベスト) 含有建材データベース (国土交通省・経済産業省)」の内容に合わせて修正。 	149
2.6 書面調査とは <ul style="list-style-type: none"> ・旧「2.4 書面調査」が「2.6」となり、以下、章番号振り直し。 	150~152
2.6.2 書面調査の流れ <ul style="list-style-type: none"> ・「1) 動線計画の策定」、「2) 全ての建材のリストアップ」を新設。 	153~160
2.7 図面の種類と読み方	
2.7.2 設計図書の多様な図面 <ul style="list-style-type: none"> ・表 2-21~表 2-23 (旧表 2-23~旧表 2-25)、図 2-106 (旧図 2-88)、図 2-107 (旧図 2-89) を修正。 ・旧「表 2-29 内部仕上表 (例2)」を削除。 	161
2.8 書面調査結果の整理 <ul style="list-style-type: none"> ・旧「表 2-34 整合性の確認表 (ワークシート)」を削除。 	163, 164
2.8.2 目視調査用資料の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「1) 動線計画の策定」、「2) 全ての建材のリストアップ」を新設。 ・旧 2.7.2 の囲み【維持管理】を第4編 4.2.2 に移動。 	170, 172~173, 180, 181
2.9 一戸建て住宅等における石綿含有建材の調査 <ul style="list-style-type: none"> ・2.9 のタイトルを旧「2.8 一戸建て住宅とは」から変更。 	189~192 347
2.10 一戸建て住宅に使用される石綿含有建材 <ul style="list-style-type: none"> ・図 2-121 (旧図 2-108) の水回りのイラストを図 2-123 参照とした。 	194
2.10.1 成形板等石綿含有建材 <ul style="list-style-type: none"> ・表 2-31 (旧表 2-36) を差し替え。 ・「(2)」を新設。旧「(2)」を「(7)」とした。 	199
2.11 石綿含有建材情報の入手方法 (一戸建て住宅)	201 202, 204

<ul style="list-style-type: none"> ・「2.11」～「2.17」を新設。 ・図 2-135～図 2-138 を追加。 ・【参考】旧「図 2-112 見取り図」は削除。 	207～212 219～222
第3編 目視調査の実際と留意点	
3.1 調査の流れ	
<ul style="list-style-type: none"> ・表 3-1、図 3-1 を修正。 ・表 3-2 (旧表 3-2 現地調査総括票 (例)) を差し替え。 	225, 228 226
3.2 事前準備	
<ul style="list-style-type: none"> ・図 3-2 の⑤に「HEPA フィルター付き真空掃除機」を追加。 ・図 3-3 (旧図 3-4) の写真を一部削除。旧「図 3-3 調査用品の例 (ホワイトボード)」の写真を統合。「サンプル収納袋 (例)」の写真を追加。 ・図 3-4 を修正。 	229 230 231
3.3 目視調査	
<ul style="list-style-type: none"> ・図 3-5 (旧図 3-6) の「定礎」の写真、及び図 3-6 (旧図 3-8) を修正。 ・旧「図 3-7 現地調査の様子」を削除。 ・旧 3.3.5 の記述を削除。旧 3.3.6 が 3.3.5 となり、タイトルを旧「3.3.6 裏面調査」から変更。 ・3.3.9 を新設。 	233, 243 242 251
3.4 調査者による試料採取	
<ul style="list-style-type: none"> ・図 3-18～図 3-21 を追加。 ・「3.4.4 (6) 建築用仕上塗材」について、安衛法に関する記述を削除。 ・表 3-3 の写真を一部削除。 	262～264 267 270～274
3.5 目視調査の記録方法	
<ul style="list-style-type: none"> ・図 3-25 を追加。 ・(3) のタイトルを旧「(3) シーン別の写真について」から変更。 ・図 3-28 (旧「表 3-7 現地調査個票 (例 1)」) を差し替え。 ・旧「3.5.3 石綿の劣化に関する記録」のタイトルを「石綿を含む部材の劣化の記録」に変更し、4.2.1 に移動。 ・以下を削除。 <ul style="list-style-type: none"> ・旧「図 3-23 撮影についての留意点」 ・旧「表 3-4 吹付け石綿などや配管保温材の撮影シーン」 ・旧「表 3-5 煙突の撮影シーン」 ・旧「表 3-6 レベル 3 建材の対象とする調査の撮影シーン」 	278 280 281 336～346
3.6 調査者に必要な石綿分析の知識	
<ul style="list-style-type: none"> ・旧「3.6.1 分析依頼」を 3.6.2 へ移動。旧「3.6.2」が 3.6.1 となる。 ・3.6.3 は旧「3.6.3(4)」と「3.6.4」をまとめなおし。 ・3.6.4 は旧「3.6.3(1)～(3)」の石綿綿分析法の変遷と留意点についての記述をまとめなおし。 ・旧「3.6.5 アスベスト分析結果報告書と着目ポイント」についての記述は削除。 ・図 3-30、表 3-4 (旧表 3-10)、図 3-32 (旧図 3-33)、図 3-35 (旧図 3-36)、図 3-41 (旧図 3-43) を差し替え。 ・表 3-6 (旧表 3-12) リヒテライト・ウィンチャイトアスベストの写真を削除。 ・図 3-38 (旧図 3-39) のリヒテライト/ウィンチャイトの X 線回折パターンを削除。 ・図 3-39 (旧図 3-40) のリヒテライト/ウィンチャイトの写真を削除。クロシドライトの写真を差し替え。 ・図 3-44 (旧図 3-46)、表 3-8 (旧図 3-31) を修正。 ・図 3-40、表 3-9 を追加。 ・以下を削除 <ul style="list-style-type: none"> ・旧「図 3-41 ハイドロバイオタイトの X 線回折パターン」 ・旧「図 3-42 バーミキュライトの X 線回折パターン」 	284, 286 290 307 288, 289, 292, 296, 301 294 297 300 303, 308 301, 309

・旧「図 3-50」～旧「図 3-54」の各報告書の例	
第 4 編 石綿の有無に関する事前調査結果報告書の作成	
・「本編のポイント」に記述を追加。	315
・石綿則についての記述を削除。	
4.1 事前調査結果報告書の作成の流れ	
・4.1 のタイトルを旧「調査の流れ」から変更。	316
・図 4-1 を修正。	319～321
・図 4-8 (旧図 4-9)、図 4-9 (旧図 4-10) を差し替え。	332, 333～
	334
・図 4-10 (旧図 4-11) に資料を追加。	335
・旧「図 4-4 石綿事前調査書面と現地との整合性の確認表」を削除。	
4.2 石綿を含む建築物の劣化の記録と維持管理	
・4.2 のタイトルを旧「維持管理における石綿調査報告書等の留意事項」から変更。旧 4.2 の記述は削除。	336
・旧「3.5.3 石綿の劣化に関する記録」のタイトルを「石綿を含む部材の劣化の記録」に変更し、4.2.1 に移動。	336～346
・表 4-1 (旧表 3-9) を修正。	339
・図 4-16 を追加。	347
・「4.2.2 石綿を含む建築物の維持管理」を新設し、旧 2.7.2 の囲み【維持管理】と旧第 1 編の最後の【建築物に石綿ありの場合の維持管理】を 4.2.2 に移動。旧「4.3」を「4.2.3」とした。	347～348
巻末資料 1	
・旧「B-6 重役室 (一例)」及び旧「B-7 スタジオ (一例)」を削除。	
・C-17 の見出しを「エコニー壁」から「吹付耐火間仕切壁」に変更。	379
巻末資料 2	
・2.1～2.9 の法令・指針・告示を令和 5 年 1 月末日現在のものに更新。	382～433
巻末資料 4	
・各情報源の改訂の日付及びQRコードを最新のものに更新。	442～444
	以上